

公表:令和 8 年 3 月 30 日

事業所名 発達支援サービスマイルワン

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースの広さや職員数は国の基準を満たしております。床にはマットを敷き詰め、ビジョントレーニング・リトミック等の運動を行う際には周りの環境を整え、安全に活動ができるように配慮しています。入口に段差があり、バリアフリーではありませんが、ホール内はスケルトンとなっており、職員間の情報共有・伝達が行いやすいように配慮しております。 ・戸外活動も取り入れ適切なスペースを確保しています。 ・曜日によって利用人数が多い場合は職員を増員して対応しております。 ・活動に見通しがもてるように、ホワイトボードに時計と写真を使用し視覚的に分かりやすく知らせるなど配慮しています。また、一人一人の棚も設置しており課題の取り組みもスムーズに進めることができるようになっております。 ・感染症対策や衛生面の管理につきましては、毎日清掃・消毒・換気をしております。引き続き安全で心地よく過ごせるように配慮していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の送迎時や連絡帳・メールやラインにて保護者の意見や要望の聞き取りを行うほか、面談や電話でのお話した内容を職員間で共有し、業務改善に繋げています。この自己評価結果はホームページにて結果・改善点を報告しています。 ・第三者による外部評価は行っていませんが、保護者の意見や要望・評価と職員による自己評価を行い、より良い児童発達支援を行えるよう改善に繋げています。 ・今年度、職員の資質の向上のための研修は対面での研修(発達支援研修やビジョントレーニングの研修)に参加しています。内容は職員間で共有して職員の資質の向上を目指していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドライン・サービス利用計画書に基づき、お子さんの姿を理解し、ニーズや課題を読み取り、保護者からの要望やこどもの発達状況に応じて関係機関との共有を図りながら支援内容を設定しています。 ・計画については、個人面談にて保護者に、支援の目的や方針を理解していただけるように丁寧に説明をしていきたいと思っております。 ・職員全員が児童発達支援計画の目的や方針を把握し、より適切な支援が行えるよう努めていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<p>・活動プログラムは固定化されないように、子どもの姿に合った活動内容を作成しています。様々な経験ができるよう、戸外活動・室内活動、集団活動・個別活動などを取り入れています。全ての活動に意図持ち経験・成長に繋がっていくことを職員同士で共有・理解し、個々の成長発達に合わせてプログラムを工夫しています。支援計画も定期的に見直し、必要性や今後の課題等話し合いをしています。</p> <p>・支援開始前と後に必ずミーティングを行い、内容や役割分担、振り返りや反省等を共有しております。</p> <p>・支援で良かった点や工夫が必要な点などを出し合い改善に繋がっています。</p> <p>・日々の支援を一人ひとりの実施記録に記述し、保護者との連絡帳や送迎の際にお話ししたことも共有しています。</p>
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			<p>・移行支援として小学校や相談支援事業所の担当者会議に最もふさわしい者が参加し、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。</p> <p>・保健センターや認定こども園との連携した支援も行っております。個人情報等適切に管理したうえで共有しております。</p> <p>・今後、児童館などの方が主催するお祭りやイベントにも行き活動していきたいと思っております。</p>
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	

	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの状況や課題については、送迎時や連絡帳、電話、メール、ライン、懇談にて話し合い、共通理解に努めています。 ・家族支援プログラムについて、相談を受けた際には個別に対応させていただきます。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定、支援の内容、利用者負担額等につきましては、安心して利用していただけるよう入園時に説明をしています。 ・児童発達支援計画は、個人懇談時にガイドラインに基づいて作成していることを説明し支援内容の同意をいただいております。 ・お子さんや保護者からの相談や申入れについて、迅速かつ適切に対応することに努めております。今後もより安心して通所していただけるよう、対応してまいります。 ・スマイルワン便りやインスタグラムの更新につきましては、今後も定期的に行っていきたいと思っております。 ・個人情報の取り扱いについても再確認し、今後も書類やデータの保管など十分注意していきます。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑲ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
	非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			
④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○			

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある子どもへの対応は、保護者と契約時に確認しております。 ・ヒヤリハット事例集の作成はしていませんが、ミーティングで気づきを報告し合い未然に防ぐことができるよう確認しています。 ・虐待防止委員会を設置し、社内研修を行ってま す。 ・現在、身体拘束について該当者はおられません が、委員会を設置して研修を行っています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。